

ルーマニア。
日本ではあまり知られていない東欧の国。しかしそこには素晴らしいテレインがあるという。
さらに北欧の国と同じくオリエンテーリングのトレーナーが存在する。

ルーマニアのテレイン

今年、ヨーロッパへオリエンテーリング遠征を行うのなら、どこに行きますか？ やはりスウェーデンですか？ ノルウェイですか？ そろそろ、遠征先に、ルーマニアを加えてみるのはいかがでしょうか。

ルーマニアは1996年ジュニア世界選手権の開催地だった国。テレインの様子はそのときの選手に聞いてみてもよいのですが、一言でいうなら植生抜群の日本のテレインという印象です。私の少ない海外オリエンテーリング経験（ドイツ、スウェーデン、ブルガリア、スイス（覗いただけ））でいうと、最も日本のテレインに近いと感じます。

日本国内のテレインとの比較ですと、八ヶ岳と富士を足して2で割ったような割らないような、という感じです。あくまでも私個人の意見ですけど。

とにかく、お伝えしたいのは、結構いい感じのテレインが、ルーマニアにはあるということ！

魅力のルーマニア

もう一つ、ルーマニアを遠征先にお勧めする理由は、ルーマニアという国そのものの魅力です。

「旧西ヨーロッパって、日本と変わらない」とちょっとでも感じたことのある方なら、まちがいなく、ルーマニアの魅力にはまってしまうでしょう。ルーマニアは東ヨーロッパの劣等性などという悪評もありますが、一歩足を踏み入れると、あったかーい人間味あふれる空気に包まれていく妙な居心地のよさがある国です。

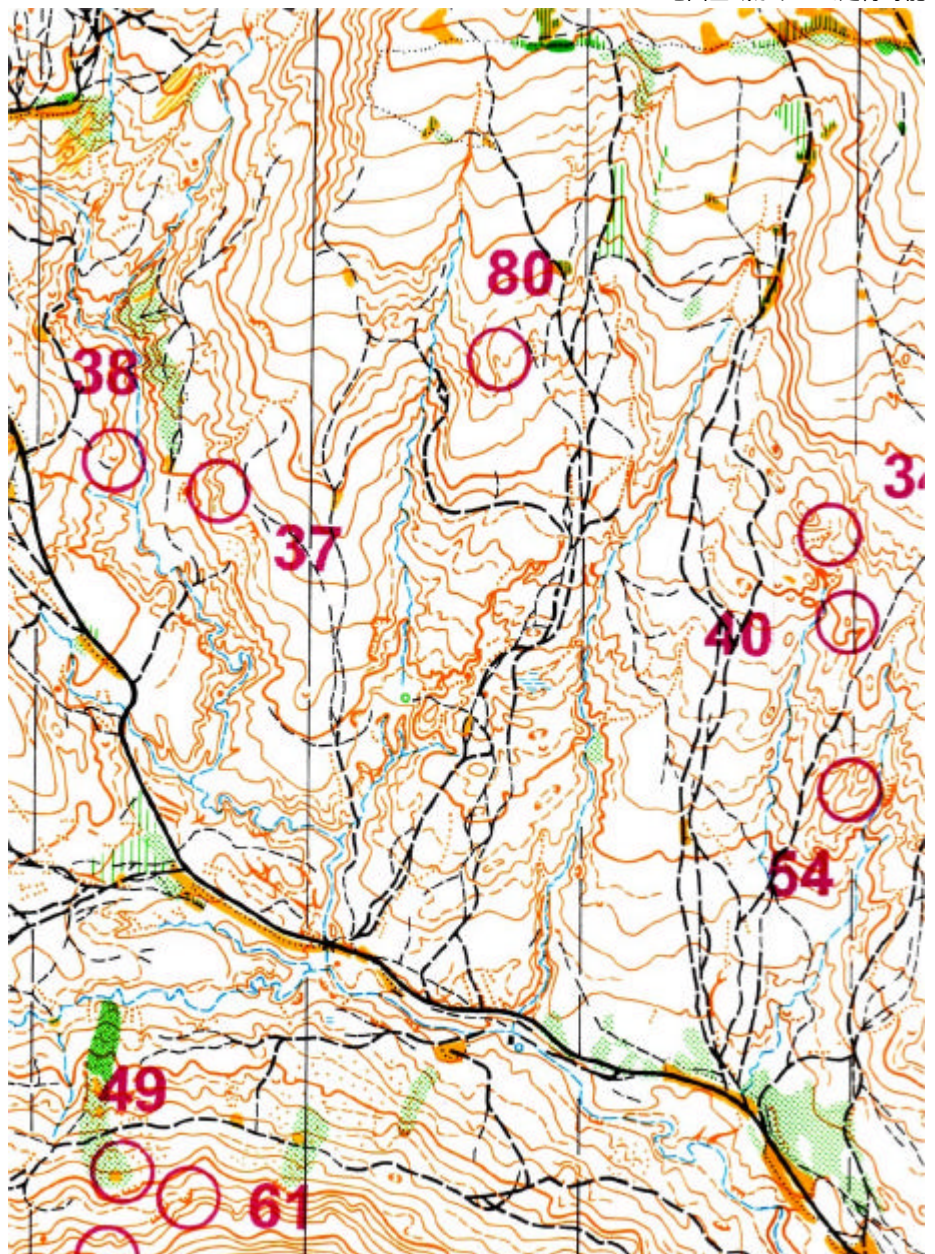
たとえば、……。

「走ればいい」というレベルの汚い自動車が走る道脇を、わらを積んだ口バ馬車がゆっくりと走っていたりします。

真冬の夕方、側溝にはまった自動車に困りきっていると、通りがかりの自動車から何人も人が出てきて、一緒に押し上げてくれたりします。（助けた方も助けられた方も、車が動き出した後は「どうもー」と軽い挨拶だけで終わってしまいます。こういう助け合いは、きっと彼らにとっては無茶苦茶日常なのだろうと想像します。）

地下鉄駅で向かいのホームに、きれいで新しい電車が入ってくると、本来行こうとしていた方向とは逆の電車であるにも関わらず、40歳近いいい大人が、目を輝かせて乗りこんでしまったりしてしまいます。（その人は、わざわざ車掌にも話を聞きにいった「ブカレストで3台しか入っていない最新式らしい」と興奮し、「最新式」（日本では普通に走っているタイプです）の電車に興味津々でした。）

1996年ジュニア世界選手権の際に使われたO-map（ルーマニア中南部）地図全域がすべて走行可能



確かに貧しくもあり、共産圏時代の爪あともまだまだ残る国ではありますが、日常の風景は、昔のヨーロッパそのもの。もし、ご自宅にグリム童話とかイソップ物語とかの絵本があれば開いてみてください。そこにある風景は、まさにルーマニアの風景です。

オリエンティアの受け入れ

えーと、忘れていました。

ルーマニアに遠征にいったら、私の友人のオリエンティア、エミールがあなたをお供します。もしかしたら、彼の奥さん、場合によっては友人のロミカやピッキーです。



アンカ / エミール / ロミカ

彼らはそれぞれオリエンテーリングのトレーナーですから、大会参加やトレーニングをやりたい場合はよい相談相手になれる。そしてあなたがルーマニアにいる間中、宿泊や食事、日常の安全を担当します。

そう、「安全」という意味は二つあります。

一つは語学の面。ルーマニアでは英語は通じません。もう一つは日常生活の面です。

都心にあふれる物乞いへの対応、予約した電車の席に堂々と居座る大家族などルーマニアには日本では学べなかった様々な場面への対応方法が必要です。そういうことです。(治安はいい方だと思います。電燈もない真っ暗な未明の道を若い女性が一人でとぼとぼ歩いていたりします。さすがに私の友人は車で拾ってあげていました。自分の家まで歩いて帰るところだったのでそうです。しかし、友人は彼女を家までは送らず、彼女が住んでいるという村の入り口でおろしていました。やはり真っ暗な場所でしたけど・・・)

それで、料金が発生します。「えーっ！ 金取るの？」と思われる方もいると思いますが、旅行の一貫とすれば格安です。また、金銭がはっきりすることで、余計に気遣いもなく、ゲストとして振舞えるという特典もついてきます。「こんなにしてもらって悪いな・・・」「ここは自分でお金出した方がいいのかな？」と気遣いながらの旅行はしたくないですよ？

価格について

全てブカレスト駅またはルーマニアのオトペニ空港が始終点となります。全て現地ですべて手払いします。

ルーマニアへオリエンテーリングをしに行く場合

1日につき、50米ドル。宿泊・三食・オリエンテーリングに関する国内交通費含む。オリエンテーリング大会に参加する場合などは参加申込費別途。できれば2人からの参加が望ましいです。

どんなことをしたいのか、ご相談ください。大会参加・トレーニング・地域クラブメンバーとの練習会参加・・・など。

7月26日-27日はルーマニアカップがあるそうです。ほか面白そうな大会があれば、エミールから連絡が入ることになってます。

ルーマニアへ観光旅行に行く場合

1日につき、100米ドル。宿泊・三食・旅行に関する国内交通費含む。1人からの参加も可能。大人数も歓迎です。

どんなところに行きたいのか、ご相談ください。

ルーマニアは2007年のEU加盟に向け、物価は上昇状態にあります。状況やご要望内容により、価格が上がることもあります。その場合は事前にお知らせいたします。

ルーマニアについてのご質問 やご相談はお気軽に

ルーマニアがEUに加盟するにあたって、私が一番不安に思っていることは、「ヨーロッパの田舎」として美しい風景と人々を残しているこの国が、世界のどこにでもある国に変化してしまうことです。

世の中の大きな流れには逆らえませんが、せめて、変化の前にこの国を十分に楽しんでおくことを皆さんにお勧めしたいと考えています。

私自身も来年早々にカントリースキーをしに行く予定です！今回は板や靴も買って、現地に常備しておこうか

と.....。

みなさんもどうぞ、オリエンテーリング遠征地として、また、ヨーロッパ遠征の際の中継地としてのルーマニアに、興味を持ってみてください。

ご質問やご相談はいつでもお答えします。いつでもご連絡ください。お待ちしております！

(八尋 弓枝)



友人ロミカが一人で作った地図
(ルーマニア北部)